



愛腎協 かわらばん

患者の、患者による、患者のための愛腎協

第 239 号 編集：(一社)愛知県腎臓病協議会事務局 発行：令和 7 年 8 月 10 日

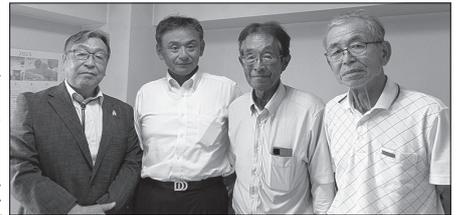
残暑お見舞い申し上げます。

今年は、10月頃まで暑い日が続くようです。
透析患者はより体調管理が大事です。皆さん大変ですが、
今年の夏も無事乗り越えましょう！



病院経営の危機！名古屋記念病院の太田圭洋理事長と意見交換

2025 年 7 月 22 日(木)14 時に社会医療法人名古屋記念財団・名古屋記念病院理事長の太田圭洋先生と面談しました。太田先生は厚生労働省の諮問機関である中央社会保険医療協議会(中医協)のメンバーで、日本透析医会副会長でもいらっしゃいます。



▲太田圭洋先生(左から2人目)に面談し意見交換しました

度重なる診療報酬改悪により病院経営が厳しくなって医療従事者不足、医院の廃業倒産の懸念が増えつつある中、政府により国民の命は今後も本当に守っていただけるのか、患者側からすれば不安要素の高い中医協での議論となっているようです。医療予算がこれ以上厳しくなれば、当然、患者への医療の質が低下することは目に見えています。地味ではあるけれど、患者側からの署名活動等はとても大事であり効果的です。医療制度維持と予算確保については第一優先事項として堅持していただくよう愛腎協会長として、患者・国民の声としてより署名活動の活発化を囁ねねばならないと強く思いました。

第 2 回愛知県・名古屋市災害合同会議を開催

2025 年 7 月 24 日(日)10 時から、名古屋市中区金山 1 丁目にある名古屋市都市センタービル 14 階第 1 会議室で愛腎協と名古屋市腎友会共催による「第 2 回愛知県・名古屋市災害合同会議」を開催いたしました。



▲第 2 回愛知県・名古屋市災害合同会議の様子

昨年の第 1 回目が続いての災害合同会議には、愛知県透析医会から会長の稲熊大城先生、同会災害対策委員長の伊藤 巧先生、名古屋共立病院副院長の春日弘毅先生を主賓にお招きして、愛知県と名古屋市、そして臨床工学技士会からもご臨席いただき、愛腎協並びに名古屋市腎友会幹部との災害情報及び意見交換の場として設定いたしました。

透析患者会としては、いつ来るかわからない大規模な災害に対しては、国・県・市町村の公助、地域の共助に依存せざるを得ないものの、災害会議での情報交換をもとに如何に生き延びるかを主眼に置いた「自助」対策を透析患者一人一人に徹底していこうと確認されました。今年度採択されました愛腎協スローガン「忘れるな、災害で命を守る自助の力」を会員と一緒に具体的な対策として見出していくつもりです。(因みに、合併症の無い透析患者の透析なしでの未確認生存可能性情報としては最長 9 日～ 12 日程度であろう…と。)

今後、愛知県下各地域での災害対策講演には積極的に留意し、参加していきましょう！

第2回名古屋本部会議開催

2025年7月20日(日)午前中、第2回名古屋本部会議が名古屋市中区金山一丁目の都市センタービル14階会議室で開催され役員14名が参加いたしました。愛腎協の2025年度下期の主な活動日程情報の共有のほか、・入会キャンペーン対応は、愛腎協として実施可否検討し、その費用相当の全腎協への提供調整はできないか?・会員募集中紙の継続・新規の色や書式の統一は出来ないか?・会員の高齢化に伴い、本人記載困難な面もあり、継続対応の見直し、家族記載(代筆)や会員継続・退会・転院等の情報収集も検討必要ではないか一等、様々な改善要求も出されました。



▲2025年7月22日 第1回名古屋本部会議 集合写真

第1回尾張本部会議開催

2025年7月20日(日)14時~17時、江南市布袋ふれあい会館2階第3会議室で第1回尾張本部会議が開催されました。愛腎協の活動情報の共有化と、9月での尾張本部域施設病院訪問日程等についても検討されました。

第2回青年部ネット会議開催

2025年7月20日(日)19時30分からネット通信で青年部会議が開催されました。暑い日中を避け、ネットを使用して時間と経費の省力を図る考え方は青年部らしい。青年部副担当理事の伊東重幸さんの紹介、イベント予定の延期等についても報告。(2026年2月1日に変更。詳細は後日)

新設の透析難民防止対策委員会が積極的に地域支援活動に乗り出す。

今年度、会長の諮問機関として発足させた「透析難民防止対策委員会」の高橋元治委員は村上俊寛理事と共に、2025年7月8日(火)10時~10時30分まで新城市健康福祉部福祉課を訪問し、中尾昌達課長と面談。関係の深い新城地域腎友会の長谷川喜一会長の逝去報告と、今後の支援を要望しました。

また、同日の11時~11時30分まで同・地域医療支援センター地域医療支援部の伊與田吏美課長、中島紳幸室長と面会し、愛腎協活動並びに新城地域腎友会活動への継続支援を強く要請いたしました。併せて新城市の関連情報収集を行なって頂きました。

また、2025年7月20日(日)の9時30分~11時まで新城地域腎友会7月度会議に村上理事と共に参加し、竹内堅一会長代行他役員体制を確認し、今後愛腎協東三河本部との連携を確認し、新城市市民病院での通院透析継続を新城市に対して陳情していく旨提案され、愛腎協としても応援すると共に今後を見守りたく思います。

2025年7月22日(火)10時~11時まで、高橋委員と豊田市地域腎友会の山田美恵子会長並びに役員と共に、豊田市の山田主成市議と面談、その紹介にて、北川敏崇議長と面会し、透析患者の送迎問題、災害対策について情報交換を行ないました。豊田市も透析患者に関する災害対策マニュアルの作成を検討して行くが、その過程で愛知県へも訪問することになろう、との回答でした。



▲豊田市役所にて

障害年金勉強会のお知らせ

◎日時：(基礎編)2025年9月5日(金)午後2時~4時
(応用編)2025年10月7日(火)午後2時~4時

●場所：東別院会館2階207会議室「梓」(詳細は愛腎協ホームページ参照)
(名古屋市中区橘-8-45、地下鉄東別院下車4ば出口徒歩西300メートル)

★お申し込み：愛知県医師会難病相談室へ①参加者氏名②病名③住所④電話番号
をFAXでお申し込みください。FAX番号は、052-243-0320です。



←HP
アクセス
には
QRコード
を使ってね

活動予定

◎8月3日(火)第2回女性部会議(10時~12時 白壁庁舎ボランティア会議室)

◎8月24日(日)第1回災害対策会議(10時~12時 名古屋市政資料館)

★事務局お盆休み：8月12日(火)~8月15日(金) 定休日：(土)(日)祝日